

緑化基礎工(モルタル袋)付 植生マット キョウジンガー ST60



適用土質	砂質土	粘質土	礫質土	岩塊 玉石※	軟岩Ⅰ		軟岩Ⅱ
					A	B	
	●	●	●	●	●		

※岩塊・玉石まじり土で、その部分が30%程度のものです。

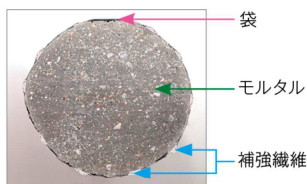


モルタル袋
(モルタル入り
補強繊維袋)



植生基材袋

乾燥帯



袋

モルタル

補強繊維

モルタル袋による小段形成

固化前のモルタル袋は柔軟性があるため、のり面の凹凸に密着します。自然の雨などにより固化し（散水不要）斜面に小段をつくることで、植物の自然侵入を促進します。

長期にのり面表層を保護する構造

固化したモルタル袋は長期的に生育基盤を維持します。また、特殊薄綿を併用しており、植物が定着するまでの間、長期にのり面表層を保護することができます。

製品規格

製品名	製品規格				ネット				1袋入数
	幅	長さ	モルタル袋間隔	肥料袋間隔	素材	形状	目合	色	
キョウジンガー ST60	1m	6m	60cm	60cm	ポリエチレン	2重編ネット	12×20mm	ブラック	6m ²

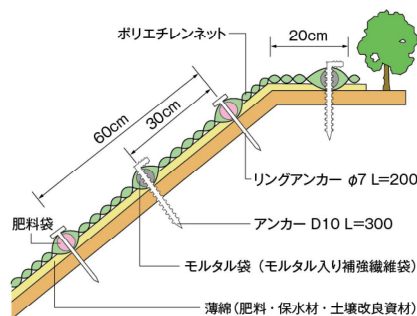
(注) 種子は付いていません。

施工手順

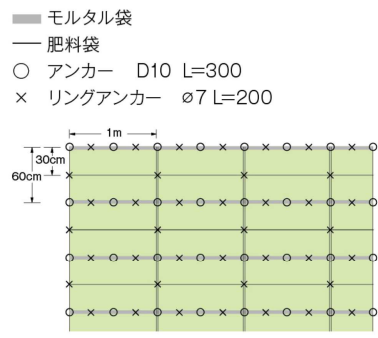
- ①のり面の雑草木、浮土砂、浮石などを除去し、マットが密着するよう清掃を行う。
- ②のり肩部を20cm程度巻き込み、不織布の付いている面をのり面へ密着するように展開する。
- ③左右の重ね幅は2cm程度、上下の重ね幅は10cm程度とする。
- ④マットは肥料袋、モルタル袋を等高線状に展開する。
- ⑤所定本数のアンカー・リングアンカーを規定の間隔・箇所に打ち込み密着させる。モルタル袋は、アンカー・リングアンカーで貫いて設置する。
- ⑥原則としてモルタル袋の端部は、上下に重ねアンカーにて打設する。

- 注1) マット展開後、モルタル袋が固化する前に直ちにアンカー・リングアンカーにて打設ください。
- 2) アンカーはモルタル袋と一体化させるため、原則として異形棒鋼(D10)を使用ください。
- 3) D10より大きいアンカーを使用する場合はモルタル袋をかかえるように設置ください。
- 4) 降雨・強風時の施工は避けてください。

標準断面図



標準打設図



※必ずしもりの尻にモルタル袋の配置は必要ありません。

100m ² 当たりの本数(10×10m)	
○ アンカー D10 L=300	357本
× リングアンカー-φ7 L=200	537本

アンカー規格、打込み位置については標準として示しておりますので、現地条件に合わせて適宜対応してください。